

TOPICS

デカンタの試運転、これからが本番
お客様紹介：(有)トータルサービス
隠岐通信
今月のプレゼント：干し柿

デカンタの試運転、これからが本番



通液した時の振動等を確認する山根社長



操作盤の表示確認をしている様子

9月7日 午前10時に、山根社長の始動スイッチで静かに新しいデカンタが動き始めました。更新の計画から6年、主要部品が修理不能となっている状況で製造に不安を抱えながら、機種選定や産廃の許可申請、消防の許可申請など山積する課題を現場作業しながら、根気よく一つ一つ解決し、やっとここまですることができました。

担当者である木村リーダーの熱意と執念が今日ようやく試運転に結びつきました。

しかしながら、これからが本番！

まずは試運転をして、機械の固液分離能力をみることから、始めます。また、どのくらい通液できるか、当社の原料に合うかどうか等の検証が必要です。

今後は、このデカンタの能力を最大限に引き出すにはどうしたらいいか、それにあった改造が必要かどうか、安定して使用できる状態にするにはどうしたらいいか等、多方面からデカンタの検証をし、ベストな状態で使用できるようにしていきます。

お客様紹介

有限会社トータルサービス 様

〒689-5211

鳥取県日野郡日南町生山659-1

TEL 0859-82-6020

FAX 0859-82-6021



会社全景

景観に配慮した社屋

河川の拡幅のため、平成28年2月に移転新築しました。瓦葺で木材をふんだんに使用した和風建築の新事務所で、周囲の景観にマッチしています。

住宅解体からトータルなサービス

昭和63年に創業、平成22年6月に社長が交替しました。解体工事から産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理を行っています。

解体工事は、鳥取県日南町を中心に、住宅等の解体を行っています。使われなくなった古民家を移築したり、人が住まなくなった空き家をリメイクしたり、家主様の希望により取り壊したり・・・日南町等の空き家対策を積極的に展開しています。

解体工事から発展し、空き家になった建物の維持管理等を新しい事業として検討中です。日南町外へ移住し、住まなくなった家屋は気がかりなもの。建物の様子を家主様に定期的にお知らせし、家主様に代わって、家屋の修繕等を行うという事業です。いつまでもいい状態で家屋が維持されれば、家主様も安心できます。

解体工事によって発生した廃材は、自社中間処理場または契約処理場にて適正に処理しています。自社の産業廃棄物中間処理施設は「木くず」と「コンクリート類」で、破碎処



施設
コンクリートの中間処理

理を行っています。「木くず」は木質燃料として、養鶏場で鶏糞の乾燥に使用されています。「コンクリート類」は、再生砕石として町内の林道の補修等に使用され、地産地消といえます。

また、建設資材や小型重機等の運搬も行っています。所有車両は、10tダンプ、7tユニック、8t・4t・2tのフックロールを所有し、お客様からの依頼内容に応じて、車両を選別し、迅速丁寧に運搬します。

所有する各種車両のメンテナンスを自社で行っている関係で、タイヤ販売・保管管理とオイル交換業務も行っています。経験豊富なアドバイザーがタイヤの選定から取り付けまで、車両のオイル交換作業は常にベストな状態で車が走行するように心掛けています。タイヤ交換やオイル交換作業は、迅速・丁寧な仕事でお客様から大変喜ばれています。

地域に愛される企業を目指して

「社内外で、『誠ちゃん』と呼ばれて親しまれています。社員は皆、15~20年と長く勤めてくれ、信頼関係を築いています。地域に誇れる会社として、地域に愛され貢献できる企業でありたいと思います。解体といえばトータルサービス、困ったことがあれば、何でも相談してください。」と、小谷社長から言葉を頂きました。（聞き手 長野）



小谷社長



事務所内の様子。
右側が前社長の小谷様。左側は、小谷社長の弟様。

悪天候での奮闘も、
無事故無災害で終了

9月1日から始まった第2期工事、Bライン燃料配管取替工事及び900KL屋外タンク貯蔵所消火配管改修工事は、9月30日に無事故、無災害で工事を終える事が出来ました。

第2期工事は、第1期工事とは打って変わって、台風の余波の影響で工事着工が4日遅れで始まり、終わってみれば雨の日が半月以上もあった1ヶ月でした。毎日、インターネットで天気予報と雨雲の動きを見ながら、天気が良い時は屋外作業を、雨降りの時は屋内作業と工夫し、工程の遅れを最小限に食い止める様、作業を進めました。

9月27日夕方までに各貯蔵所の完成検査済証の発行を受け、28日には、A重油1,000KLのタンカーによる受入が完了しました。そして、29日の夕方をもって、Bライン燃料配管取替工事の作業は終了となりました。



Bライン燃料配管消防立会検査

7月から始まったA及びBライン燃料配管取替工事に協力して頂いた社員の皆さんに感謝します。また、私の仕事のバックアップをして頂いた社員の方々にも感謝します。ありがとうございます。

第3期工事の移送配管取替工事は、来年年明けから始まります。年内に再度、隠岐事業所を訪問し、打合せを行いたいと考えています。
(松下)

「よろずのことに気をつけよ」
を読んで
川瀬七緒 著



この本を読んで、人の思い込み、自身の常識や観念と、周りから見た観念の違いというものに気づかされました。また、宗教やその土地の思い込みで、客観的な目での間違いにも気づかないまま進んでいくことの恐ろしさも感じました。一度信じると、固定観念に捕われ抜け出せなくなると。

世の中、ほんの些細なことで人が人を傷つけるニュースが溢れています。自身も観念がいかに稚拙なものか、ニュースを見、本を読み、たびたび思い知らされます。

よろずのことに気をつけよというタイトルでもあるように、信用していい言葉、疑うべき言葉、この感想文を読んで改めて、信じるべき事、疑うべき事を見極められる人間になることが、自身の成長に繋がることでもあると感じます。

思い込みで他人に迷惑をかけない、その人間の立場になって考えることができる人間になることが大事だと思います。

(佐藤)

灰分分析の研修

株式会社サンエムの坂東氏と大久保氏が、分析実験の研修を行っています。

普段は、タンク清掃や営業などの業務を行っている二人ですが、再生重油に含まれる灰分の分析手順を一通り覚え、将来は自社の製品開発に役立てたいということです。再生重油販売先のお客様から品質に関する問い合わせ等が増えてきており、お客様に喜んでいただける製品作りに励みます。

測定機器に頼らず、自分の手で実験を行い、自分の目で見て確かめ、自分の耳で音を聞いて・・・感覚をつかみ、分析結果に自信がもてるよう、研修を続けます。



写真左より、大久保氏、高橋社員、坂東氏。

四半期を終えて

周りからお客さまから素晴らしいと言われる人と会社になる

常務取締役 安原幸治

今期も4ヶ月が経過しました。8月は、6、7月のマイナスを取り返し、営業利益を確保することができました。

決して安心できる状態になったわけではありませんので、今までにも増して売上を上げ、経費を抑えていかなくはなりません。今後の励みになる結果となりました。社員の皆さんの頑張りが大きな成果となって現れた結果として報告します。

今期は人員が減ったことにより技術力も含めた総合力が低下しており、部門の中だけでは解決できないことが多くなってきているのが現状ですが、新たに入社してくれた祝部社員、松尾社員、佐藤社員も今まで未経験の業務を覚えて、少しでも早く戦力になろうと懸命に頑張ってくれています。

当社の社員がそれぞれ持っている知識と経験を他の部門でも活かして、全社員で協力して一つひとつ丁寧にお客さまの要望に応えることで、必ず良い成果となって現れます。

「小さなことを積み重ねるのが、とんでもないところへ行くただ一つの道だ」

メジャーリーガー “イチロー” の言葉です。

一つひとつの仕事がお客さまに喜んで頂ける商品やサービスになっているか、自分の都合で仕事をしていないか、たとえ僅かな売上でも、コストダウンでも、一人ひとりの小さな積み重ねが大きな成果に繋がります。

まずは私自身が率先してお客さま先を訪問します。そしてベテラン社員、先輩社員と希望を持って入社してくれた皆さんも一丸になってお客さまの要望に応え、今期の目標を達成しよう。

私はこう考え、こう実行します

【河上】他部門の協力をしてコストを下げる。

【松下】お客様の要望に応え、今、受注している工事を、無事故無災害で終える。

【榎並】お客様の要望に丁寧に対応できるように、部内での打ち合わせを細めに行います。

【山口】私はお客様が喜ばれるように小さなことを積み重ねます。

【木村天】責任ある行動をとる。

【大國】焦らず諦めず計画を一步步つ前へ進める。

【松本】ムダを無くし効率をあげる。

【岸本】お客様の要望に応えられるようにお客様の気持ちになって考えて行動する。

【高橋】私は今行っている業務に「本当に必要か？」と成果とコストを考えて仕事をします。

【植尾】お客様目線で考えます。

【吾郷】自分ができないことでも挑戦します。

【長谷川】お客様の要望に出来る限り応えます。

【小村】今まで通り、小さなことをコツコツと積み重ねる精神を持ち続けて目標を達成する。

【恩村】ムダを無くしてコスト削減します。

【金森】誰のため、何のためか考え優先順位を間違えない。

【藤原大】周囲の人たちと協力し、作業を安全に行います。

【野々村】一つ一つ丁寧に仕事をこなします。

【松浦】小さな努力を毎日積み重ねていきます。

【藤原拓】お客様に安心していただける廃油タンクを製作します。

【宮北】ムダを省いて効率的に作業を行う。

【石川】事故に気をつけ、確実な作業をします。

【祝部】先輩方の作ってこられたお客様とのつながりを大切に、さらにつながりを大きく出来る様にしていきます。

【松尾】お客様への挨拶など小さな積み重ねができるよう努力します。

【佐藤】お客様の立場に立って、喜んでもらえるような作業を行います。

【中村】作業の流れの中で、自分は今、何をすべきかを考え優先する作業から実施し、ムダを減らします。常に勉強の気持ちを持ち続け、改善に努めます。

【足立】私は私のやるべきことを正しく丁寧に心を込めて行います。

【藤田】目の前の一つ一つの仕事に、真摯に取り組みます。

【加藤】毎日の仕事については、「こだわりと責任を持った仕事」を心掛ける。

【長野】小さな改善を積み重ねて、成果を出していきます。

クリスマスキャンドル作りをします

今年も下記のように、使用済み天ぷら油を使って、キャンドル作りを開催します。カラフルなキャンドルを作ってみませんか。

使用済み天ぷら油を持ってきてください。
(500MLのペットボトルに入れてきてね)
お問い合わせは、編集部まで。

* 出雲産業フェア2016

11/5 ~ 11/6 (両日とも10:00 ~ 16:00)
場所: 出雲ドーム

* 2016松江市環境フェスティバル

11/13 10:00 ~ 15:00
場所: くにびきメッセ



昨年の松江市環境フェスティバルの様子

毒キノコ特集...キノコの季節到来、絶対に食べてはいけないキノコです。カエンダケに至っては、触ってもいけません。松江市宍道ふろさと森林公園で見つけました。



「カエンダケ」燃えさかる炎のような赤色を全身に帯びるキノコ。漢字では「火炎茸」、または「火焰茸」と書き、毒キノコの中で最も危険です。



「テングタケ」色は褐色または黄土色を帯びた褐色。形は幼菌時は半球形、成長するにしたがつてカサが広がり平らになっていきます。かわいいキノコです。



9月に行った環境整備後の状態

暑かった夏が終わり、秋風が吹き、涼しくなってきました。事務所周りの雑草の勢いはやや衰えたものの、ちょっと油断すると雑草が山のように生い茂ります。根気よく刈っていきます。やがて、寒くなって雪が積もるようになりますが、除雪機のメンテナンスを予定していきます。

成功への実践

尾身幸次 著

理想的な人生を生きるうえで、
怒ってはいけない
悲しんではいけない
怖れてはいけない

自分の運命や健康について思い悩むことは
大きな間違いである。
何事があるうとも、つねに明るく朗らかに
活き活きと勇ましく心を保持する。
笑顔を忘れてはならないと思う。

(長野)



社長が薦める今月の一冊

心に吹く風

伊藤謙介 文源庫刊



私が8年前に感銘を受けた本を再登場させます。著者は稲盛さんに学び、稲盛さんを支えて、京セラを世界的な会社に育てられたお一人です。

私のこの本との久しぶりの出会いは、最近のある日何気なく会社の本棚を見ていた時のことです。この本の背表紙が、むこうから私の目に飛び込んできたのです。何かを訴えたかったのでしょうか。同じ時期に再びこの本を読んだ松下部長も、同じことを言っています。

それまで経営者として目の前の雑事に、心まで奪われていた私。本来目指すべき方向ではないことに翻弄されている私に、「あつ、これはいけない」と、この本が警笛を鳴らしてくれたのです。

離見の見 客体として自分を見る 世阿弥

心に中にもう一人の自分をおき、客観的な視点から常に自分を注視し、戒めていくこと。

リーダーは傲慢におちいり、道を誤りそうになる自分を常に点検し、修正していかなければなりません。「謙虚にして驕らず」を心に秘めておけば道はずれることはないのです。(p-220~)

これを好機として、私はもう一度ゆっくりとこの本を読み直し、「感性を豊かにし、心を高める(本文より)」努力をします。再度読んだ松下部長も、なにか大切なものを感じ直してくれたに違いない。(山根)

編集後記

松江は松平家7代目藩主の松平不昧公がお茶を嗜んだこともあり、茶処であり、菓子処でもあります。毎年10月には、松江城大茶会が開催され、市民や観光客に親しまれています。

茶道は、正月の初釜から始まり、春夏秋冬の一連の行事があり、それぞれの四季が感じられ、また、作法が理がなっていて、無駄がありません。実生活に活用できると思います。作法だけでなく、茶道を通して培われた人間関係や茶道関連の知識が、自分の人生にどれだけ役立ったか、測り知れません。

お茶を嗜むことができるひとときを大事にし、心に余裕をもちたいと思います。また、もっと茶道にかかわりをもち、実生活に生かしていきたいと思います。(長野)

下記書籍を購入希望の方は、弊社までお知らせ下さい。在庫数が少ないため、出版局から取り寄せてお届けします。『成功への実践』(税込10,584)

『君に成功を贈る』(税込1,944円)

今月のクイズ

解答を下記編集部までお寄せ下さい。応募の方法は、ファックス、電子メール、ハガキ、営業マンに渡していただいても結構です。正解者の中から抽選で2名様に松江市東出雲町産干し柿を差し上げます。クイズの締切は10月末です。奮ってご応募下さい。

Q: ノーベル賞の時期になりましたが、本年度は、日本人は何人受賞するのでしょうか?



先月号の答は、「0」でした。

日吉津村 吉野様、出雲市 出川様が 当選です。おめでとうございます。

応募用紙(答)

住所、会社名、氏名(必ず氏名をご記入ください)

FAX 0852-37-2472 E-mail h.nagano@e-skk.co.jp

蔵書新着状況

- ・里海資本論 日本社会は「共生の原理」で動く
井上恭介 角川書店
- ・仕事と人生を劇的に変える100の言葉
新将命 アルファポリス
- ・「世界一速い会社」の秘密
竹田正俊 ダイアモンド社
- ・一流の育て方ービジネスでも勉強でもズバ抜けて活躍できる子を育てる
ムギ・私、ミス・パソパコ ダイアモンド社
- ・「不思議な会社」に不思議なんてない
荒木恭司 あさ出版



発行日: 毎月10日

発行: 690-0025 島根県松江市八幡町796-20

TEL 0852-37-2470 FAX 0852-37-2472

山陰興業(株) ECO'S通信編集部長 長野

E-mail: h.nagano@e-skk.co.jp

印刷: 授産センターよつば 印刷係

ホームページ (<http://www.e-skk.co.jp>)

山陰興業蔵書本をお貸しします

本誌で紹介した蔵書本を、広く皆様にお貸しします。

営業マンや当編集部に遠慮無くお申し付け下さいませ。